

2021 年度福井工業大学対話会 学生アンケート集計結果

参加学生 26 名のうち、18 名からアンケートの回答が得られた。

回答者の内訳は、学部 3 年生 3 名、2 年生 1 名、1 年生 14 名であった。

まず、あなた自身について該当するものをチェックして下さい。

(18) 学生 () 教員 () 一般市民 (男性 16, 女性 2)

学生さんに伺います。該当するものをチェックして下さい。

() 高専 (18) 学部 () 修士 () 博士 () 年

専攻について伺います。該当するものをチェックし、専攻を記入して下さい。

(18) 理系 (専攻：原子力工学) () 文系 (専攻：) () 文理統合系

進路について伺います。該当するものをチェックし、希望を記入して下さい。

(14) 就職 (希望就職先、分野：原子力)

(4) 進学 (希望進学先、分野：原子力)

今回の講演や対話について伺います。該当するものをチェックして下さい。

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(7) とても満足 (10) ある程度満 (0) やや不満 (0) 大いに不満、(1) 回答無し

理由：

- ・原子力発電の将来について考えることが出来た。
- ・原子力利用についてより知ることができた。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(5) とても満足 (13) ある程度満足 (0) やや不満 (0) 大いに不満だ

理由：

- ・自分が知らなかったことを知ることが出来た。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

(7) 十分聞くことができた (9) ある程度聞くことが出来た

(1) あまり聞けなかった (1) 全く聞けなかった

理由： 記載なし

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）

(14) 新しい知見が得られた。

(3) マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。

(5) 自分の将来の進路の参考になった。

(1) 教育指導の参考になった。

(0) 特に新しい知見は得られなかった。

(0) その他 ()

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

(6) 非常にある (11) ややある (0) あまりない (0) 全くない

理由：

・ 普段接することの無い人と接することは成長のために必要なことだから。

(6) 今後、機会があれば友人や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

(11) 勧めたいと思う (2) 勧めたいとは思わない

(5) どちらとも言えない

(0) その他 ()

□ 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)

(0) 放射線、放射能はやはり怖い。

(12) 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。

(0) 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。

(6) 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。

□ 原子力発電に対して伺います。

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえあなたの認識は次のどれですか？

その理由は？(該当するものをチェック)

(12) 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。

(6) 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。

() 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。

() 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。

() どうすればいいかよく分からない。

理由：

□ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

・ 非常に有意義な会議でした。

・ 多くの人たちに知ってもらえる必要のある情報ばかりであった。

・ 勉強になったので参加してよかったと思う。

・ 世界の原子力発電に関する考えなどを学ぶことができた。

□ 最後に、カーボンニュートラル(脱炭素)に対して伺います。

温暖化対策や脱炭素社会実現などについてメディア報道が毎日のように流れております。脱炭素についてのあなた自身の意識変化についてお聞きします。

(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

(11) 大いにある (5) 少しはある (2) あまりない () ない

- (2) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？
(3) 大いに話す (11) あまり話さない (4) ほとんど話さない
- (3) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）
(2) 温暖化のメカニズム (6) 温暖化の影響と対策 (6) 主要国の動向
(7) エネルギー資源の確保 (2) 我が国の環境・エネルギー政策全般
(7) 脱炭素化実現のためのコスト (5) 脱炭素化の手段、方法論、道筋
(6) 脱炭素化の技術開発、イノベーション (1) 地球規模リスクの管理手法
(2) 脱炭素化での日本、世界の産業界動向 (6) これからの社会変化全般
(8) 原子力発電や再生可能エネルギーの役割
(0) その他 ()
- (4) 地球温暖化や脱炭素化社会実現の動向はあなた自身の生活や進路選択に影響をもたらしていますか？（複数回答可）
(11) 進路を考える上で企業の姿勢などを考慮 (4) 進路とは切り離している
(2) 普段の生活態度が少しは変わった (2) 生活態度に変化はない
- (5) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について見解をお尋ねします。
(8) 実現するとは思えない (5) 相当いいところまで到達する (5) わからない
- (6) 「地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。
(6) 十分知っている (11) 多少知っている (0) 知らない
(1) 勉強してもっと知りたい

（編集：矢野隆）

以上